

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	心タンポナーデに対する心膜開窓術における監視下麻酔管理に関する研究
研究責任者	聖隷浜松病院 麻酔科 奥井悠介
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 麻酔科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021年10月30日
対象者	2014年1月から2020年12月までの間に聖隷浜松病院で心臓手術後に心タンポナーデの手術を受けられた患者様
研究の意義・目的	心膜開窓術は心タンポナーデに対し行われる手術ですが、心タンポナーデの患者は往々にして循環動態が不安定です。そのような患者に全身麻酔を施行すると循環抑制により高度の低血圧に陥ることも珍しくありません。そのため、必要最小限の麻酔薬で自発呼吸を温存しながら行う監視下麻酔管理は、高度な麻酔技術が必要ではありますが、循環抑制が全身麻酔より軽微なため、監視下麻酔管理を心膜開窓術の麻酔に応用できれば、その意義は大きいと考えられます。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究(症例集積研究) 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 性別、年齢、身長、体重、左室EF、麻酔薬、麻酔方法、血圧、挿管の有無、使用した昇圧薬の種類と投与量、麻酔時間、手術時間、鎮静度、 【統計・解析】症例群の記述統計及び比較検討
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 奥井悠介 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日